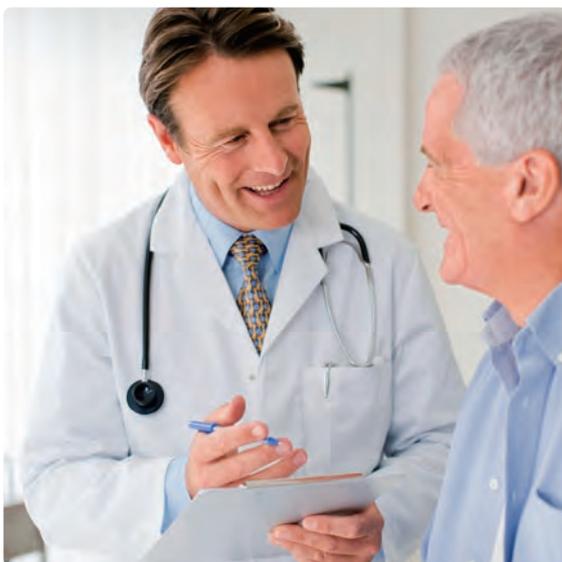


# シスメックス あんしんレポート 2014

CSR報告書 ダイジェスト版



トップメッセージ	1
シスメックスについて	3
企業理念	5
特集1 ヘルスケアの進化	7
特集2 事業プロセスの改善	9
特集3 環境保全活動	11
CSRの取り組みの概要	13
グローバルピックアップ	14
Japan	15
Americas	17
EMEA	19
China	21
Asia Pacific	22



# グローバルな医療課題の解決に貢献し、 ステークホルダーの皆様に「安心」をお届けしていきます。

### 世界各地で事業活動を通じた 社会への貢献を目指しています。

1968年の創業以来、検体検査の分野で先進の技術をベースに、さまざまな製品やサービスを生み出してまいりました。2013年度に、創立45周年を迎えたシスメックスは、現在、世界170カ国以上で製品をご使用いただいています。

医療を取り巻く環境は近年、大きく変わりつつあります。新興国では、経済発展と人口増加を背景に医療ニーズが増大し、また先進国では、少子高齢化や健康に対する価値観の多様化が進んでいます。そのような中、疾病予防や病気の早期発見、治療方針の決定に重要な役割を果たす検査の重要性は年々増えています。こうした環境変化をいち早く

捉え、「健康でありたい」という人々の願いに応えたいと考えています。

2013年度は、変わりゆくヘルスケア市場で今後も発展・成長を続け、さまざまな医療課題の解決に貢献していくために、ドイツのアイノスティクス社(現 シスメックス・アイノスティクス社)およびパルテック社をグループに迎え入れました。シスメックス独自の診断技術やネットワークに、血液中のがん遺伝子を高感度に検出する技術を有するアイノスティクス社と、フローサイトメトリー※技術のパイオニアであるパルテック社のノウハウや開発力を融合することで、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供する個別化医療の実現を目指してまいります。また、パルテック社は、HIVやマラ



リアなど感染症検査分野においても高いプレゼンスを有しています。今後は、シスメックスのネットワークを活用し、新興国・途上国における医療の発展への貢献を目指してまいります。さらに、川崎重工業株式会社と共同で、医療用ロボット製品の製品化に向けて、マーケット活動を行う株式会社メディカロイドを設立しました。

今後もシスメックスは、グループ企業理念「Sysmex Way」のMission「ヘルスケアの進化をデザインする。」のもと、事業活動を通じて世界中の人々の健やかな暮らしに寄与してまいります。

※ フローサイトメトリー：微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して個々の粒子を光学的に分析する手法のこと。主に細胞を個々に観察する際に用いられる。

## ステークホルダーの皆様へ「安心」をお届けするためにさまざまな活動を展開しています。

シスメックスは、「Sysmex Way」に基づき、ステークホルダーの皆様へ「安心」をお届けするという考え方を大切にしています。2011年から参加している国連グローバル・コンパクトの10原則と、社会的責任の国際規格ISO26000を踏まえた「CSR中期計画」を2013年4月からスタートさせており、企業の社会的責任を全うすべく、一歩一歩取り組みを進めています。

2013年度は、従来から取り組んでいる物流プロセスの改善を大きく前進させました。製品梱包材の見直し、試薬原材料の現地調達化、自社倉庫の新設、地元・神戸港の活用など、全体最適なグローバルロジスティクス構造の再構築を目指したこれらの取り組みは、物流の効率化やコスト削減のみならず、CO<sub>2</sub>排出量削減にも寄与しています。

また、本業を通じた取り組み以外では、試薬生産工場のある兵庫県小野市に「シスメックスの森」を新たに開設しました。手入れが行き届かず生態系のバランスが低下した森林を再生するため、開設以来間伐や下草刈り、歩道整備など

の森林整備活動を進めています。地域の皆様をはじめ、多くの方々が気軽に自然と触れ合える里山を目指して取り組みを継続してまいります。さらに、ヘルスケアに関わる企業として、スポーツを通じた健康社会づくりに貢献したいという想いから、第1回大会より継続して「神戸マラソン」に特別協賛しています。2013年11月に開催された第3回大会では、約2万名のランナーを支えるため当社グループから約300名の従業員・家族がボランティアや沿道応援に駆け付けました。2014年11月開催の第4回大会においても大会のサポートを通じて地元神戸の活性化に寄与してまいります。

## 新たなグループ中期経営計画をスタートさせ、将来の基盤整備を進めています。

2013年4月には、グループの高成長の持続と収益性のさらなる向上を目指し、新たなグループ中期経営計画をスタートさせました。

ビジネスユニット体制による事業推進体制の強化、研究開発への継続的投資、生産拠点の整備による生産能力の増強など、将来の成長に向けた基盤整備を進めています。また、スピードと実行を重視する企業カルチャーへと転換させることで、確実に企業としてのステージを上げていくことがグループ中期経営計画の目指す姿です。

これからもグループと地球社会の持続的な発展を実現するために挑戦を続けてまいります。ステークホルダーの皆様には、今後ともいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2014年7月

代表取締役会長兼社長



注：本報告書中の「シスメックス」はシスメックスグループを指し、「シスメックス(株)」はシスメックス株式会社単体を指します。

# シスメックスについて

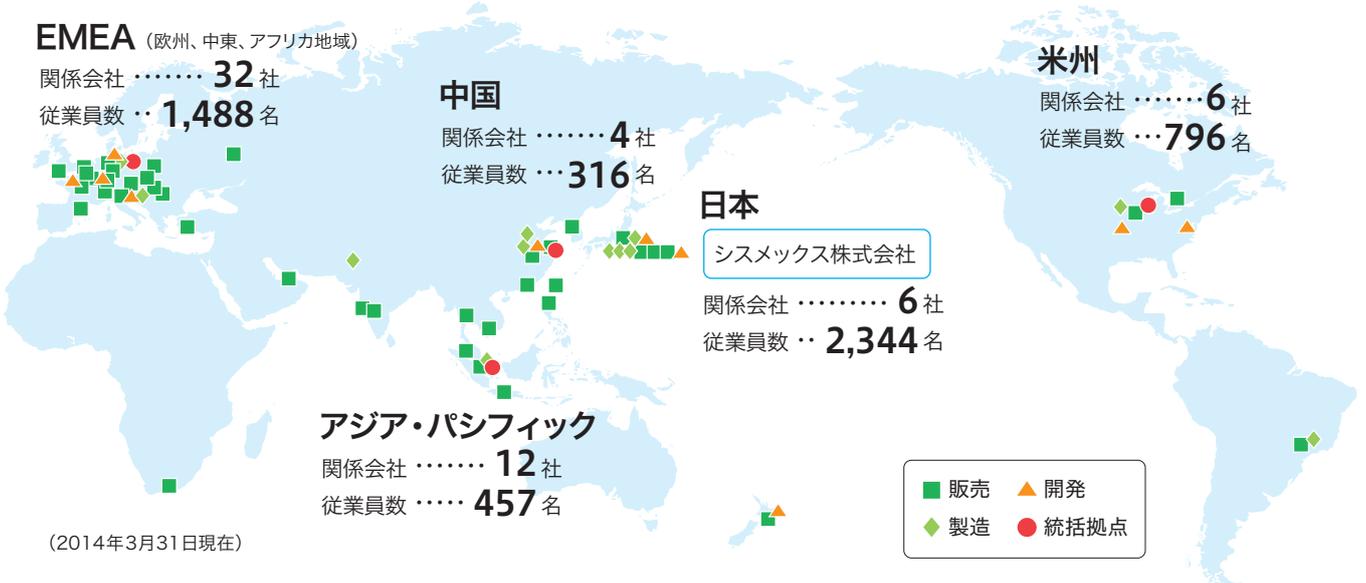
## ヘルスケアにおける「検査」の領域で 世界中に製品・サービスをお届けしています。

患者さんから採取した血液や尿、細胞などを調べる検体検査は健康状態の確認や治療方針の決定にあたって重要な役割を果たします。シスメックスは、研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫体制のもと、検体検査分野を中心に、さまざまな機器や試薬を170カ国以上のお客様に提供し、人々の健康と生命を支えています。

### 研究開発から生産、販売、サービス&サポートまでの一貫体制



### グローバルネットワーク～世界170カ国以上に製品・サービスを提供



身近なところで、シスメックスの製品が活躍しています。

**① 病院**

当社製品は、外来・入院検査や人間ドックでの血液検査などに用いられ、身体の各器官・各組織の機能低下や異常の発見に役立っています。



全自動血液凝固測定装置  
「CS-5100」



全自動免疫測定装置  
「HISCL-5000」



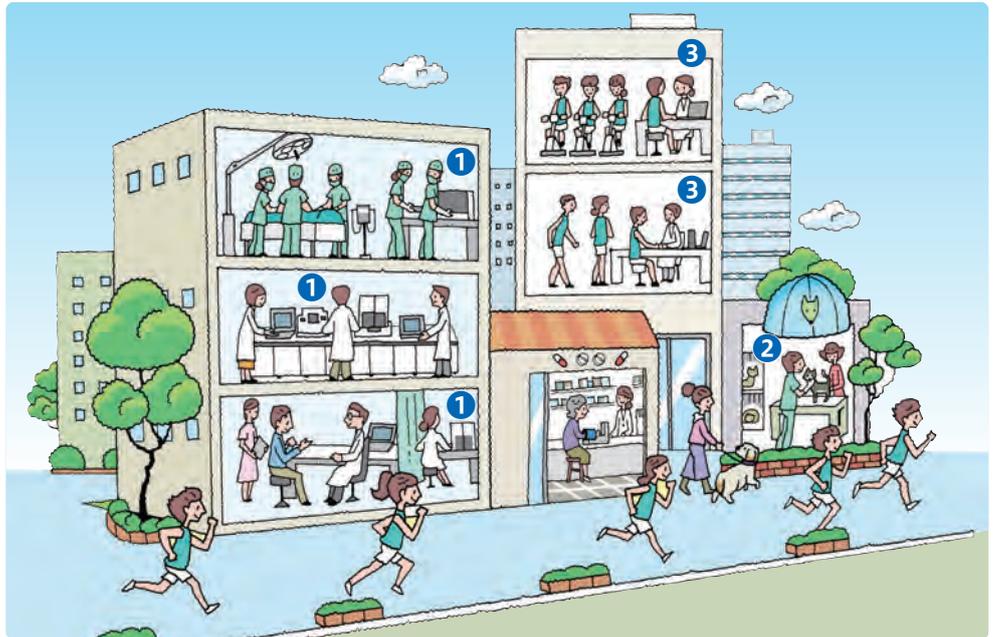
遺伝子増幅検出装置  
「RD-100i」



多項目自動血球分析装置  
XNシリーズ「XN-2000」



XNシリーズ試薬



**② 動物病院**

犬や猫などの血液検査に用いられる当社製品は、動物たちの健康管理に役立てられています。



動物用多項目自動血球計数装置  
「pocH-100iV Diff」

**③ スポーツ施設**

当社のヘモグロビン推定値を測定できる装置は、スポーツジムや学校の運動部などでトレーニングプログラム作成や栄養管理などに活用されています。



健康モニタリング装置  
「ASTRIM FIT」



## シスメックスグループ企業理念

### Sysmex Way

#### Mission

ヘルスケアの進化をデザインする。

#### Value

私たちは、独創性あふれる新しい価値の創造と、  
人々への安心を追求し続けます。

#### Mind

私たちは、情熱としなやかさをもって、  
自らの強みと最高のチームワークを発揮します。

### 行動基準

#### お客様に対して

常にお客様の視点で行動し、確かな品質ときめ細やかなサポートにより、お客様に安心を届けます。  
常にお客様が真に求めるものが何かを追求し、お客様の期待を超える新しい価値を提案します。

#### 従業員に対して

多様性を受け入れ、一人ひとりの人格や個性を大切にすると共に、  
安心して能力が発揮できる職場環境を整えます。  
自主性とチャレンジ精神を尊重し、自己実現と成長の機会、成果に応じた公正な処遇を提供します。

#### 取引先に対して

公平・公正を基本とした幅広い取引により、取引先の皆様に安心を届けます。  
相互の信頼関係と研鑽により、取引先の皆様と共に発展する企業をめざします。

#### 株主様に対して

経営の健全性と透明性を高め、積極的な情報開示とコミュニケーションで、株主の皆様  
に安心を届けます。  
堅実かつ革新的な経営を推進し、持続的な成長と株主価値の向上に努めます。

#### 社会に対して

法令遵守はもとより、常に高い倫理観にもとづいた事業活動を推進し、社会の全ての皆様に  
安心を届けます。  
環境問題をはじめ地球や社会が抱える様々な問題の解決に、社会と共に取り組みます。

1



2



3



# 「Sysmex Way」の実践に向けて グループ全体で「VQ(バリュークエスト)」活動を展開

徹底的に考え、そして、実践につなげる場として  
VQ45を実施しました。

シスメックスは、グループ企業理念「Sysmex Way」の実践を通じて企業価値の向上を図る活動として、創立40周年の2008年に「VQ(バリュークエスト)」活動をスタートさせました。これは、「Sysmex Way」をどのように実践していくべきかを従業員一人ひとりが自ら考え、皆で議論する活動です。まず、社長から問い掛けが発信され、それに対して世界中の従業員が多くのアイデアを出し合い、数カ月をわたって議論を重ねるものです。

創立45周年を迎えた2013年度は、世界各地で進行している多種多様な環境変化に適応し、従業員一人ひとりが自らの仕事、グループでの仕事を「徹底的に考え、そして、実践につなげる場」として「VQ45」を実施しました。日本国内でのVQ45のテーマは「業務の再定義、仕事の見直し」であり、ステークホルダーの皆様に最適かつ最大の価値を提供するために、「知る・知らせる」「捨てる」「変える」の3つの視点で、再定義・見直すべき仕事は何かを考え、それぞれ実践することを推奨しました。

## VQ45のテーマ(日本)

### 業務の再定義、仕事の見直し

情報共有、意見交換、議論を通じて  
社内外の変化を「知る・知らせる」

無駄な業務、ルールは「捨てる」

ステークホルダーの期待を超えるために「変える」

世界各地のグループ従業員が  
熱心に知恵を出し合いました。

VQ45は日本国内だけでなく、世界各地のグループ従業員が参加・推進し、2013年4月にグループに加わったばかりのシスメックス・コアでも、熱心に議論が行われました。日本の各事業所では、さまざまな部門の従業員が集まり、気軽に話ができる座談会を開催したところ、ここから若手従業員を中心とした部門横断型の提案に発展しました。また、社内SNS(Social Networking Service)を活用することで、距離と組織の垣根を越えた意見交換も実現しました。

こうして生み出された各チームのアイデア、活動プロセス、活動結果をグループ全体で共有する場として、2013年10月に研究開発拠点テクノパークでVQ45発表会を開催。海外グループ会社を含む約600名の従業員が参加し、さまざまな提案が発表されました。なかでも、インド向けに安価で現地ニーズに即した製品を提供していくことを提案したシスメックス・インド、全社に発信する品質情報の改善を提案した品質保証本部、パーツの梱包改善によるコスト・作業工数削減を提案したSCM(サプライチェーンマネジメント)本部には、それぞれ賞が与えられました。また、社会貢献活動を促進するために提案された「社会貢献ポイント制度」は2014年4月に導入されました。

さらに、VQ45以外にも創立45周年を記念して、従業員の家族向けの職場見学会「オープンシスメックス」や、創立45周年記念イベント「フェスタ45」を開催しました。今後もシスメックスは、VQ活動をはじめとして地域や組織の枠組みを取り払った活発なコミュニケーションを推進し、グループ一丸となって「Sysmex Way」の実践に取り組んでいきます。

写真①、②、③、④：VQ45発表会の様子 写真⑤：オープンシスメックスの様子 写真⑥：フェスタ45の様子





## ステークホルダーの声

私たちは、タンザニアで2,000名以上のHIV陽性者・AIDS患者のケア・治療にあたっているNPOです。移動性に優れ、多くの患者さんにサービスを提供できるパルテック社の小型・ポータブル式の感染症検査装置を導入したことで、郊外に住む母親や子どもたちが検査を身近で受けられるようになりました。この私たちの取り組みは、州の保健当局からも大きな関心を集めています。今後もパルテック社とともに多くの可能性を模索していきたいです。

Highlands Hope **Royal Orr** 様



るようになりました。同社では、この技術を用いた受託検査サービス「OncoBEAM®」を主体とした事業を展開しています。

特に、大手製薬会社とともに、がんの個別化医療のカギとなる「コンパニオン診断薬」の開発事業に積極的に取り組んでいます。この診断薬による検査で個々の患者さんの血液などを用いて薬剤標的となるたんぱく質や遺伝子を解析することで、治療薬の有効性がより期待できる患者さんや、副作用のおそれが高い患者さんを特定できるようになります。シスメックスの自社技術にこれらの新たな技術を加えることで個別化医療の実現を目指します。

## 簡便・廉価なHIV/AIDS検査の普及を目指して

パルテック社は、フローサイトメトリー（FCM）法による研究用機器を1968年に世界で初めて製品化したパイオニアです。この技術を活かして開発された新興国・途上国向けの製品は、世界3大感染症であるHIV/AIDS、結核、マラリア患者の治療・

モニタリングに役立てられています。これらは、医療設備が十分でない環境でも検査が可能な小型のポータブル式で、使用する試薬も他社製品の数分の一の低価格です。また、各地で手軽に検査できる移動ラボラトリーを展開しており、特にアフリカのHIV/AIDS検査市場では高いシェアを獲得しています。

今後はシスメックスのグローバルなネットワークを活用することで、アフリカだけでなく、アジアや中南米などでもパルテック社の製品の認知度・普及度を高め、さまざまな新興国・途上国の医療環境改善に貢献していきます。世界中の人々の健やかな暮らしに貢献していくために——シスメックスはグループ一体となって新たなステージへ挑戦していきます。

- ※1 フローサイトメトリー：微細な粒子を流体中に分散させ、その流体を細く流して個々の粒子を光学的に分析する手法のこと。主に細胞を個々に観察する際に用いられる。
- ※2 BEAMing技術：BEAMは、Bead, Emulsion, Amplification, and Magneticsの各頭文字。Digital PCR（高感度PCR）技術とフローサイトメトリー技術を融合させた遺伝子解析手法。これによって血中の微量遺伝子変異を検出することができる。

パルテック社

---

小型・ポータブル式の  
感染症検査装置

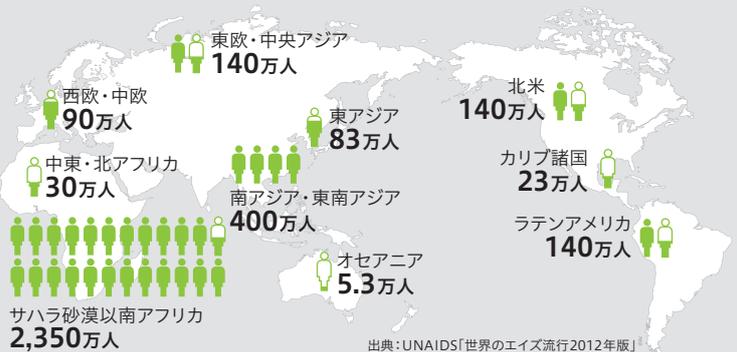


---

インフラ未整備地で  
移動ラボラトリーを展開

[会社概要]  
Partec GmbH（本店所在地：ドイツ／ゲルリッツ）  
会社設立：1967年 従業員数：約180名（2013年12月現在）

## 世界のHIV陽性者数



## 新興国・途上国での 感染症医療普及に貢献

新興国・途上国では、HIV/AIDS、結核、マラリアが蔓延しており、世界的な課題となっています。簡便・廉価な検査機器が普及することで、これら感染症の予防・治療に貢献できると考えられています。

# 物流のプロセス・体制をグローバルな観点から見直し、効率化と環境負荷低減を推進するためにプロジェクトを発足

## グローバルレベルで段階的に物流改善を推進

新興国での医療投資拡大や、社会的な環境問題の深刻化など、シスメックスの事業を取り巻く環境は年々変化しています。そのような中で製品分野や販売地域の拡大を続けているシスメックスは、物流の多様化に対応した物流プロセス・体制の見直しが必要になってきました。

そこで、「全体最適」なグローバルロジスティクス構造の再構築やプロセス改革によるサプライチェーンリードタイム短縮を目的に、2012年4月、プロジェクトを発足しました。以来、段階的に物流体制の見直しや梱包改革を進め、物流全般の再構築に取り組んでいます。

このプロジェクトの取り組みは、物流改革のみならず、環境負荷低減にもつながります。シスメックスが掲げる「エコビジョン2020※」を達成するための有力な手段になるため、物流部門をはじめ、資材部門や工場、海外関係会社を巻き

込んだ統合的な施策を段階的に進めています。

※エコビジョン2020:シスメックスグループ環境行動計画。「製品・サービス等の環境配慮」と「事業所の環境配慮」に関する2020年度までの目標を設定。

## グローバルな物流体制の再構築によるCO<sub>2</sub>排出量削減を目指して

これまで、一部の保冷試薬の海外輸送を航空便から船便に転換することで大幅なCO<sub>2</sub>排出量削減に成功しています。また、機器製品の本体付属品の一部を現地調達に切り替えたことにより、リードタイムの大幅な短縮を実現しただけでなく、輸送距離が削減されて、CO<sub>2</sub>排出量削減にもつながりました。今後は現地調達化を機器本体付属品だけでなく、試薬材料にも展開していく予定で、一層の効果が期待できます。

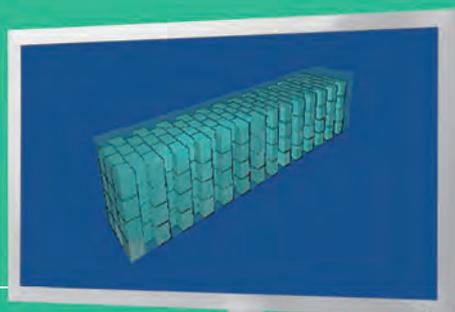
さらに、積載シミュレーションを強化することで製品の出荷タイミングを調整し、船便コンテナへの積載率を向上させ、

## CO<sub>2</sub>排出量削減につながった活動

一部保冷試薬の海外輸送を航空便から船便へ

機器製品の本体付属品の一部を現地調達

積載シミュレーションの強化により、製品の出荷タイミングを調整して船便コンテナへの積載率を向上



### 積載率改善事例

2012年度

49%

2013年度

55%

船便コンテナへの積載率(ピーク時)を

6ポイント向上

## ステークホルダーの声

製品をお届けする物流活動は「動脈物流」と言われ、その反対の回収や廃棄の物流は「静脈物流」と言われます。私たちは、輸送モードの切替えやコンテナ積載率を向上させ効率よく送る動脈物流の視点と、使用後の回収や廃棄に至る静脈物流の視点を同時に持つことを意識し、梱包サイズや梱包資材の見直しに取り組んできました。今後もグローバルな観点で環境負荷低減を目指して活動していきます。

シスメックス(株) ロジスティクス部 部長 片山 知恵



輸送回数を削減することができました。具体的には、2013年度の積載率(ピーク時)は55%となり、2012年度の49%から6ポイント向上しました。

また、兵庫県加古川市に竣工した新工場「アイスクエア」の敷地内に倉庫を設置し、2014年8月に稼働させる予定です。工場と倉庫を直結させることで、効率的な物流体制を築くとともに、日本国内のお客様への直送体制の確立、神戸港の積極活用による高効率な海外輸出ルートの実現などを目指しています。

今後も、コンテナ積載率のさらなる向上を目指し、海外生産拠点も含めたグローバルな適正在庫を本社地区の物流部門で管理し、無駄のない計画的な輸送を探索し続けます。

につながり、また輸出先の地域特性を考慮した梱包設計の導入は、省資源化やリサイクル率向上に貢献します。

物流のプロセス改善と同時に、梱包設計の見直しを進め、すでに一部では輸送中の取り扱いによる損傷の恐れがないスチール梱包を導入しました。また、国内向けには繰り返し利用できるリユース梱包の導入を、地域の特性に合わせて順次展開していく計画です。

今後もシスメックスは、グローバルでの供給責任が拡大していることを認識し、継続的な物流効率の改善とともに環境負荷の低減に取り組んでいきます。

## 梱包設計の見直しによる 省資源化やリサイクル率向上を目指して

機器製品の梱包サイズの適正化は保管・積載率の向上

### 梱包の改善

機器製品の梱包サイズの適正化による  
保管・積載率の向上

輸出先の地域特性を考慮した  
梱包設計の導入

繰り返し利用できるリユース梱包や  
損傷しにくい  
スチール梱包の導入



### 梱包改善事例



付属品と本体の梱包を  
一体化することで体積を **21%削減**

# 地域の水資源・生物多様性を守るために 従業員ボランティアが中心となって 「シスメックスの森」での森林整備活動を推進

## 企業の社会的責任として森林整備活動を実施

森林には、雨水を貯め、水質を浄化する「水源涵養」と呼ばれる機能があるため、森林整備は水資源を確保するために欠かせない活動です。また、2010年10月に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締結国会議(COP10)以降、日本でも生物多様性の大切さが認知されつつあり、多くの企業が多様な動植物を育む場としての森林を守り、育てる活動に取り組んでいます。

シスメックスでは、中核事業の一つである試薬生産において水を原料として使用していることから、地域の水資源涵養に寄与する森林の保全を重要な社会的責任の一つと位置づけるとともに、生物多様性保全への貢献を目指しています。こうした考えのもと、2013年度には兵庫県が推進する「新ひょうごの森づくり」活動の趣旨に賛同し、森林整備活動をスタートさせました。試薬工場が立地する兵庫県小野市にある「かわい

快適の森」(17ヘクタール)のうち、約2ヘクタールを借り受けて「シスメックスの森」と名づけ、「人といきものがともに憩える里山づくり」を目指しています。

2013年5月に、来賓の皆様と従業員有志が参加して森開きの式典を執り行いました。今後、数年にわたって、水源涵養の観点から間伐や下草刈りといった森林整備作業を進めるとともに、生物多様性の保全に向けて巣箱設置や湿地整備、自生種育成、地掻き※などにも取り組みます。また、山道整備や景観整備、草花の植樹なども進め、人と自然が触れ合える活力ある里山の再生に取り組んでいきます。

※ 地掻き：地面に降り積もった落葉や枝などを取り除く作業。

## 従業員とその家族がボランティアとして活動を推進

初年度となる2013年度には、森開きを含めて2回の定期活動と5回の随時活動を実施し、参加者は家族も含めて延べ

写真①：シスメックスの森の風景 写真②：森開き式典の集合写真



## ステークホルダーの声

森開き以来、従業員ボランティアとして森林整備活動に参加しています。手入れによって日光の当たり具合や水の流れなど、見た目にもわかるほど大きく変化してきました。きっといきものたちの生態環境も変わってきていることと思います。日常とは異なる自然の中での活動は、子どもたちにとっては非常に貴重な体験であり、大人にとっても良いリフレッシュになります。今後も人といきものが憩える里山を目指し、他の従業員やその家族、地域の皆様と一緒に楽しく取り組んでいきたいと思っています。

シスメックス国際試薬(株) 第二生産部 製造課 三係(小野工場) 係長 堂本 英里



147名にのぼりました。

11月の定期活動では、30名以上の従業員とその家族がボランティア参加し、間伐や地掻き、山道の階段づくりなどの作業に取り組みました。陽が差して明るくなった森は、萌芽<sup>ほうが</sup>によってさらに多様な植生を育むことになります。また、随時活動においては、貴重な森林資源の循環使用をテーマとした取り組みを行っています。例えば、間伐したコナラ<sup>こうら</sup>の木を利用して食材用のシイタケ栽培、地掻きで集めた枝葉では腐葉土づくりやカブトムシなどの昆虫の生息環境づくりを行っています。

「シスメックスの森」の活動には幼少期の子どもたちも参加しています。子どもたちには、森林整備活動を通じて環境に対する意識を育んでほしいと考えています。

今後も地元自治体や森林組合、地域住民の皆様と協力・連携しながら、長期的視野に立って「シスメックスの森」を人といきものがともに憩える里山に再生していきます。

## 海外グループ各社でも環境保全につながる社会貢献活動を展開

シスメックスでは2013年度、「シスメックスの森」活動以外にも、国内外でさまざまな環境保全活動に取り組みました。例えば、米国の統括現地法人シスメックス・アメリカでは、従業員ボランティアが森林保全のための清掃活動に取り組み、シスメックス・ニュージーランドの従業員は、多様な植物が生息する海岸の清掃活動を実施しました。

今後もシスメックスでは、地球環境保全に貢献するために、地域に根差した社会貢献活動を推進していきます。

写真③:間伐作業 写真④:地掻き作業 写真⑤:山道の補修

## 「シスメックスの森」2013年度活動概要

間伐、下草刈りなど → 水源涵養

専門機関による生物環境調査、地掻き、枝葉集積  
→ 生物多様性保全

桜などの植樹、山道整備、花壇作成 → 里山整備



## 中長期の目標を設定してCSR活動を推進



CSRへの取り組みを積極化するために、2013年4月、国連グローバル・コンパクト10原則と社会的責任に関する国際規格ISO26000を踏まえてCSR中期計画(2013～2015年度)を策定しました。この計画に基づいてCSR活動を推進し、社会的課題の解決を目指しています。

区分	CSR中期目標	2013年度活動状況 ○:計画通り △:一部未達	2014年度の活動計画
組織統治	①コンプライアンス体制の強化	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループコンプライアンス体制を見直し、コンプライアンス委員会を設立。</li> <li>グローバルコンプライアンス規程とグローバルコンプライアンスコードを改定。</li> </ul>
	②事業継続計画の拡充	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業継続計画見直しのために、事業継続管理体制構築ワーキンググループの活動を開始。</li> <li>機能別事業継続マニュアルの完成。</li> <li>事前対策計画(耐震強化・災害復旧対策など)の策定と実施。</li> <li>「従業員とサプライチェーンにおける人権」と「気候変動」に関するリスクを加えて、リスクアセスメントを実施。</li> </ul>
人権・労働慣行	③ダイバーシティの推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児・介護休業からのスムーズな復帰を支援する制度を開始。</li> <li>障がい者用設備を充実。</li> <li>介護休業取得者に対する休業補償(給付金)の導入。</li> <li>労務管理(ハラスメント、時間管理、ワーク・ライフ・バランス)に関する正しい理解を促進する研修を実施。</li> <li>グローバル採用の推進、海外の方向けのインターンシップ制度の充実。</li> </ul>
環境	④長期環境目標(エコビジョン2020)の達成に向けた活動の推進	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の環境配慮(RoHS指令※1対応など)を推進。</li> <li>事業活動の環境負荷低減(電力、水使用量)は事業所の増改築や生産構成の変化のために2013年度目標未達。</li> <li>製品の小型軽量化・消費電力低減、梱包材の簡易梱包。</li> <li>脱動物由来原料への切り替え。</li> <li>RoHS指令適合宣言(2015年7月)の準備活動。</li> <li>リモートサービスの推進。</li> <li>航空便から船便への切り替えの促進。</li> <li>事業所のエネルギー使用量の削減。</li> <li>事業所の廃棄物リサイクル率の維持。</li> <li>試業工場の水使用量の削減。</li> </ul>
公正な事業慣行	⑤公正な取引の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>贈収賄禁止法・独禁法の遵法体制検証、対応計画の立案。</li> <li>シスメックスプロモーションコードの改定。</li> <li>海外贈収賄禁止法令、EU競争法に関する社内啓発。</li> <li>遵守体制の外部評価。</li> <li>サンシャイン法※2に基づく情報公開。</li> </ul>
	⑥CSR調達の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>CSRを勘案した調達方針に改定。</li> <li>新しい調達方針を取引先と社内関係部門へ周知。</li> <li>調達における人権、倫理・労働安全衛生への取り組みを表明し、取引先に対する遵守状況調査を実施。</li> </ul>
消費者課題	⑦情報セキュリティの強化	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務面のセキュリティリスク対策に注力。システム面のセキュリティリスクには新CRMシステム※3で対応することとし、情報セキュリティマネジメントシステム認証取得は延期。</li> <li>現状のセキュリティレベルを向上させるため、部門システム運用の見直しおよび手順の文書化、教育を実施。</li> </ul>
	⑧顧客満足の向上	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新CRMシステムを介したVOC活動※4を開始。</li> <li>新CRMシステムのVOC情報を分析して関係部門へ伝達。</li> </ul>
コミュニティへの参画・発展	⑨社会貢献活動の推進	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会貢献活動を実施(「シスメックスの森」での森林整備活動、神戸市から借受けしている歴史的建造物「みなと異人館」の一般公開など)。</li> <li>従業員のボランティア活動支援制度(社会貢献ポイント制度)を導入。</li> <li>「社会貢献ポイント制度」の運用開始と関連施策の立案、実施。</li> </ul>

※1 RoHS指令: EU(欧州連合)で販売される電気電子機器に含まれる有害化学物質の使用禁止を定めた指令。重金属(鉛、カドミウム、水銀、六価クロム)と、ダイオキシン類の発生原因となる特定臭素系難燃剤(PBB、PBDE)の使用全廃を要求したもの。

※2 サンシャイン法: 製薬企業に対して医師や研修病院への支払いに関する情報公開を義務づける法律の通称。米国、フランスなどで制定されている。

※3 CRMシステム: お客様に関するさまざまな情報を一元的に管理するシステム。

※4 VOC活動: お客様の意見を収集・分析し、事業にフィードバックする活動。

# グローバルトピックス

シスメックスが2013年度に取り組んだ世界各地でのさまざまなCSR活動のうち、主な活動をご紹介します。



P15

## Japan

- 多項目自動血球分析装置XN-2000とXN用診断薬がGerman Design Awardを受賞
- 健康モニタリング装置「ASTRIM FIT」がグッドデザイン賞を受賞
- グローバルな人材の育成に注力
- お客様の日々の精度管理をサポート
- 神戸マラソンへの協賛



P17

## Americas

- 働きやすい職場づくりや社会貢献活動が認められ、「Companies That Care Honor Roll」を6年連続受賞
- 従業員の成長を積極的に支援
- 多様性の尊重・働きやすい環境づくり
- 顧客満足度調査14年連続No.1
- ブラジルで子どもの生活や医療を支援



P19

## EMEA (欧州・中東・アフリカ地域)

- 育児支援や健康促進施策を積極的に展開し、働きやすい職場づくりを推進
- 教育計画に個々の従業員のニーズを反映
- グローバルな人材交流
- 障がい者支援団体に一部業務を委託
- 乳がん啓発イベントに協賛



P21

## China

- 医療現場が抱える問題を解決できるエンジニアを大学と共同で育成
- 安心・快適な職場づくりや積極的なコミュニケーションに注力
- 試業生産工場におけるISO14001の認証取得
- 公正な取引を徹底するための従業員教育



P22

## Asia Pacific

- APインターナショナルシスメックス学術セミナーを開催し17カ国500名以上が参加
- 従業員の結束力を強化するための活動を実施
- 環境保護活動に注力した事業所としてインドのパディ工場が表彰
- 新興国の精度管理を支援し、標準化に貢献
- 乳がん啓発イベントに協賛





グローバルトピックス

# Japan

多項目自動血球分析装置XN-2000とXN用診断薬が

## German Design Awardを受賞

2013年12月、シスメックスの多項目自動血球分析装置XNシリーズ「XN-2000」とXN用診断薬が、「German Design Award」(The German Design Council主催)を受賞しました。この賞は、すでに他の国際デザイン賞を受賞した作品であることがノミネートの条件であるため、ノミネート自体が名誉とされ、その審査の厳しさから「賞の中の賞」と呼ばれています。多項目自動血球分析装置XN-2000とXN用診断薬は、2012年11月にドイツ

のデザイン賞「iF product design award 2013」を受賞したことにより、今回「German Design Award」にノミネートされました。

機能・性能の向上に加えて、ユーザーである臨床検査技師の方の負担軽減を重視したシスメックスの製品デザインコンセプト「サイレントデザイン®」の考え方から外観、ユーザビリティまでが高く評価され、ノミネートされた全1,900件以上の中から受賞した100件のうちのひとつとして選ばれました。



多項目自動血球分析装置 XN-2000



XN用診断薬

健康モニタリング装置「ASTRIM FIT」が

## グッドデザイン賞を受賞



GOOD DESIGN  
AWARD 2013

ASTRIM FIT

2014年1月、シスメックスは採血することなく血液中のヘモグロビン推定値を測定できる「ASTRIM FIT」を発売しました。当製品は、高い機能をコンパクトにまとめたことと優しい造形表現が評価され、2013年度のグッドデザイン賞(公益財団法人日本デザイン振興会主催)を受賞しました。

従来製品よりもコンパクトで価格も約1/3に設定しているため、トップアスリートはもちろんのこと、2020年の東京オリンピックで中心となるユース世代の指導の場でのコンディショニング管理などにも活躍が期待されます。

## 人権・労働慣行

### グローバルな人材の育成に注力

シスメックスでは、グローバルなビジネスの中核を担うグローバル人材の育成に注力しています。

若手社員層を対象として、海外現地法人へ派遣し実務経験を積ませる「グローバルアプレントイスプログラム」を2011年度から導入しています。このプログラムは、グローバルなキャリアを志望する社員を社内公募し、早期に海外業務経験の機会を提供することにより、将来のグローバル人材へと育成することを目的としたものです。帰国した制度利用者の一部が報告会を開き、海外の市場環境について見聞きしたことを報告するなど、海外の状況を国内に伝える手段としても役立っています。2013年度末までに、計13名がプログラムを利用し、海外に派遣されました。

さらに、2012年度からは、日本と海外グループの従業員同士の交流を促し、互いに理解を深めることで関係強化を図る「グローバル人材交流プログラム」も導入しています(詳細はP.20参照)。



グローバルアプレントイスプログラムで交流を深める従業員

## 消費者課題

### お客様の日々の精度管理をサポート

病院などの医療機関では、毎日の検査データの信頼性を確保するために検査装置・試薬の精度を日々管理しています。一般には「コントロール」と呼ばれる専用の試料を測定し、その結果を参考値ならびに日々の測定結果と比較することによって、検査装置・試薬の状態をチェックします。シスメックスは、このコントロールを提供してお客様の精度管理をサポートしています。さらに、お客様のもとにある検査装置と、当社のカスタマーサポートセンターをオンラインで結ぶSNCS(Systemex Network Communication Systems)を構築しています。カスタマーサポートセンターでは、このSNCSを通じてお客様の検査装置から送られてくるコントロールの測定値を受信し、同じ検査装置

の結果の集計や比較を行い、データ異常の予兆を察知・判定して結果を返信するサービスを提供しています。2013年度には新たに、SNCS回線を活用して装置の状態をリモートで巡回点検する「スマートメンテナンス」のサービスを一部製品で試験的に開始しました。

なお、2013年度には、このSNCSが「顧客満足度の向上と業務の効率化を両立させている」事例として評価され、日経コンピュータ(日経BP社)主催の優れたIT活用事例を表彰する「IT Japan Award 2013」においてグランプリ賞を受賞しました。



「IT Japan Award 2013」  
グランプリ賞の盾

## コミュニティへの参画・発展

### 神戸マラソンへの協賛

神戸マラソンは、阪神・淡路大震災からの復興に手を差し伸べていただいた皆様への感謝の気持ちを込め、「感謝と友情」をテーマに開催されている市民マラソン大会です。シスメックス(株)は地元神戸の企業としてこのテーマに賛同するとともに、ヘルスケアにかかわる企業としてスポーツを通じた健康社会づくりに貢献したいという思いから、第1回大会より特別協賛しています。

2013年11月に開催された第3回大会では、約2万名分のランナーゼッケンの提供や、当社グループの従業員とその家族によるボランティア活動など、全面的に大会をサポートしました。また、同時開催の「神戸マラソンEXPO」にも出展し、採血なしで血中ヘモグロビン推定値が測定できる当社製品ASTRIMによる健康状態のチェックや、シスメックス女子陸上競技部によるストレッチ講座やトークショーを実施しました。

2014年11月に開催される第4回大会においても大会のサポートを通じて地元神戸の活性化に寄与していきます。



第3回 神戸マラソンでの給水ボランティア活動



グローバルトピックス

# Americas

## 働きやすい職場づくりや社会貢献活動が認められ、「Companies That Care Honor Roll」を 6年連続受賞

シスメックス・アメリカでは、従業員の働きやすさに配慮した環境づくりに加え、コミュニティにおける社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

長年にわたりヘルスケアの分野で事業展開してきた当社では、健康という側面からより良い社会づくりへの貢献を目指し、アメリカ癌学会、アメリカ心臓学会、白血病リンパ腫協会などへの寄付を継続して実施しています。2013年度は合計で10万ドル以上を寄付しました。また、これらの団体が開催するイベントには従業員もボランティアとして積極的に参加しています。

さらに、2013年度にはNPO「Northern Illinois Food Bank」が実施した恵まれない人々に食料を配給する活動に、会社として協賛するとともに20名以上の従業員がボランティアとして参加し、食料のパッキングなどを手伝いました。また、この他にも近隣の森林保全など、さまざまな活動に取り組んでいます。

これらの取り組みが認められ、シスメックス・アメリカは米国のNPOが主催する「Companies That Care Honor Roll 2014」を受賞しました。この賞は社会貢献活動や働きやすい職場づくりなどに積極的に取り組んでいる企業に与えられるもので、シスメックス・アメリカは、6年連続で受賞しています。



森林保全のための清掃活動



食料配給活動に参加した従業員ボランティア



## 人権・労働慣行

### 従業員の成長を積極的に支援

シスメックス・アメリカでは、新入社員に対して60日間のオリエンテーション・研修を実施するとともに、全従業員を対象としたeラーニングプログラムを用意しています。さらに、従業員が大学などで自主的に学ぶことを支援する奨学金制度も導入し、大学で学ぶ場合は、成績に応じて最大5,250ドルまで、大学院で学ぶ場合は、10,000ドルまでの費用を会社から支給しています。

また2013年度には、経営管理強化やリーダーシップ向上を目的とした研修「シスメックスマネジメントアカデミー」を実施し、米州地域の管理職30名以上が参加しました。



シスメックスマネジメントアカデミーの受講者

### 多様性の尊重・働きやすい環境づくり

シスメックス・アメリカでは、多様性の実現に向けて、「アファーマティブアクションプログラム(差別撤廃プログラム)」を策定し、実行しています。また、多様な働き方が可能な職場づくりにも注力しており、フレックスタイムでの勤務や在宅勤務なども可能なことに加え、外部サービス会社と契約して、急に家族が病気になった場合などにサポートが受けられるようにしています。さらに、社内フィットネスジムを設けるなど、健康の維持・向上にも注力しています。

こうした取り組みが評価され、外部機関を通じて実施している従業員満足度調査においても、高い満足度を実現しています。また、2013年度には、会社と従業員とが強い結びつきを持っていることなどが評価され、シカゴトリビューン紙が地域の優れた職場を表彰する「Top Workplaces」の1社に選ばれました。



## 消費者課題

### 顧客満足度調査14年連続No.1

シスメックスでは、1979年に米国子会社を設立し、2003年に現地での直接販売・サービスを開始して以来、顧客満足度の向上を目指してきました。オンラインネットワークサポートサービスSNCS(Sysmex Network Communication Systems)を通じたお客様の装置の安定稼働のサポートや、専用スタジオからお客様に向けて装置の操作方法をライブ中継するバーチャルカスタマートレーニングなど、充実したサポートを提供し、多くのお客様から好評を博しています。

こうした取り組みの成果として、外部団体による血球分析装置メーカーに関する顧客満足度調査※では、14年連続で満足度No.1を獲得しています。また、eメールや郵便による独自のアンケート調査も実施しており、2013年11月に実施した調査では、10.0点満点中9.1点となっています。

※ 米国IMV社によるユーザー調査(IMV Service Track)。

## コミュニティへの参画・発展

### ブラジルで子どもの生活や医療を支援

シスメックス・ブラジルは2013年度、トレーラーで地域をまわり、ショーやクリスマスプレゼントを提供する「The trailer of Mr. Manuel」プロジェクトを支援しました。このプロジェクトに参加した子どもとご家族は、延べ1万6,000名以上にのぼります。また、孤児や貧困な子どもたちに手を差し伸べている団体「São Roque」に協力し、シスメックス・ブラジルの工場でも子どもたちの合唱団による発表会を開催しました。

さらに同社では、小児医療の普及に取り組んでいる「Little Prince Pediatric Hospital」を5年間継続して支援しており、2013年度には「Advances in Health Treatment for the Right to Live」と題された、先進的なダイアグノティクス研究や小児医療の知識普及などを旨とするプロジェクトに協力しました。



合唱団による発表会



グローバルトピックス

# EMEA

(欧州・中東・アフリカ地域)

育児支援や健康促進施策を積極的に展開し、

## 働きやすい職場づくりを推進

シスメックス・ヨーロッパとシスメックス・ドイツでは、従業員の働きやすい職場づくりのために、さまざまな制度や設備を整えています。例えば、子育て中の共働きの従業員のために、子ども一人につき毎月50ユーロを3歳まで支給する育児支援金制度などを設けています。また、栄養士や心理療法士によるカウンセリングの実施や、社内にフィットネスルームを設置するなど、従業員の心身の健康促進に注力しています。

2013年度には、調査機関が実施している「Great Place to Work」コンペティションに2度目の応募をし、従業員50～500名のカテゴリで、参加したドイツの企業100社中50位(前回は64位)に選ばれました。また、今後は、EMEA地域全体を対象として、自社独自の従業員満足度調査も実施していきます。

### 心身の健康を促進するための主な施策

- ヨガ、ピラティス、バドミントン、ボクシングなどのスポーツコースを提供(定期参加の場合、無料)
- 定期的なスポーツ活動への補助(フィールド勤務者:月50ユーロ)
- 栄養士によるカウンセリング(無料)
- 心理療法士によるカウンセリング(無料)
- マッサージの提供(費用の50%を会社が負担)



## 人権・労働慣行

### 教育計画に個々の従業員のニーズを反映

シスメックス・ヨーロッパでは人材開発チームが年間教育計画を設定・実行するとともに、その効果の検証にあたっています。また、教育計画には、上司や人事部門との面談などの際に集めた個々の従業員の教育に関するニーズも反映しています。

こうした体制のもとで、新入社員研修やマネジメントスキル研修、また「つながりプログラム」と題したEMEA地域全体の管理職向けのリーダーシップ研修、従業員が他の従業員を教育・指導する「シスメックススクール」などを毎年実施し、従業員の成長を支援しています。



つながりプログラム

### グローバルな人材交流

シスメックスでは、2012年度からは、日本と海外グループの従業員同士の交流を促し、互いに理解を深めることで関係強化を図る「グローバル人材交流プログラム」を導入しています。

2013年度は、11月にドイツ、ハンガリー、チェコの従業員を日本に招き、神戸本社での業務体験やディスカッション・フォーラムへの参加、東京・名古屋・大阪にあるお客様の研究所などへの訪問を実施しました。2014年1月には、日本人従業員がドイツにあるシスメックス・ヨーロッパを訪問し、業務体験やお客様訪問を通じて交流を深めました。



業務体験を通じた他地域従業員との交流

## コミュニティへの参画・発展

### 障がい者支援団体に一部業務を委託

シスメックス・ヨーロッパの試薬工場では、材料の選別などを障がい者の自立支援に取り組んでいる団体に業務委託し、障がい者の方々に自社の製造ラインで作業に取り組んでいただいています。

シスメックス・ヨーロッパでは、障がい者を雇用している企業に、機密文書をシュレッターにかける作業などを委託しています。

### 乳がん啓発イベントに協賛

シスメックス・ヨーロッパは、「DigniLife™」ブランドのもと、がんの化学療法にともなう脱毛を頭皮冷却によって低減する製品を展開し、がん患者さんのQOL向上への貢献を目指しています。2013年9月には、ドイツ・ハンブルクの市立公園で開催されたランニングイベント「Komen Race for the Cure」に、このブランドとして協賛しました。このレースは、乳がんに関する認知度を高め、患者さんとそのご家族を勇気づけるためのイベントで、同時に乳がんに関する教育プロジェクトに活用するための募金なども行われます。シスメックス・ヨーロッパは「DigniLife™」のブースを出展し、頭皮冷却や髪のメンテナンスに関する情報を提供するとともに、実際に頭皮温度を下げて効果があることも体験していただきました。

また、レース自体にも従業員27名が「DigniLife™」チームとして参加し、総勢1,700名の参加者の中で7番目に大きなチームとなりました。参加者からは「感動的な雰囲気」に感銘を受け、また病める人を勇気づけるイベントに参加できたことに大きな意義を感じた」などの声がありました。



レースに参加した「DigniLife™」チームメンバー



出展した「DigniLife™」ブース

医療現場が抱える問題を解決できる

## エンジニアを大学と共同で育成

2013年7月、シスメックス・上海はShanghai Medical Instrumentation College(SMIC)との共同プロジェクトとして、臨床検査機器のエンジニアを養成する研修拠点を開設しました。

教育経験に優れたSMICの教員・研究者と、豊富な実務経験と技能を持つシスメックス・上海のエンジニアが力を合わせ、意欲ある人材を効果的に教育・指導することで、中国の医療現場が抱える問題を解決できる優秀なエンジニアを育成していきます。



調印式



SMIC

### 人権・労働慣行

#### 安心・快適な職場づくりや積極的なコミュニケーションに注力

中国の2つの試薬生産工場の1つである済南工場では、従業員が安心して快適に働ける職場づくりに注力しています。作業室は、労働安全衛生に配慮することはもちろんのこと、リフレッシュ効果が高いといわれる自然光を取り入れ、明るく健やかな空間を形成しています。さらに、食堂やレクリエーション室などの福利厚生施設を充実させるとともに、屋外にピオトープや散策小路なども設け、自然に触れることでリフレッシュできるようにしています。

もう一方の試薬生産工場、無錫工場では、従業員満足度調査を実施しており、2013年度の満足度は全調査項目で70%以上となっています。

### 環境

#### 試薬生産工場におけるISO14001の認証取得

シスメックスでは、グループ全体で環境マネジメントの国際規格である「ISO14001」の認証取得を進めており、2013年6月には、中国の無錫工場が新たに認証を取得しました。

### 公正な事業慣行

#### 公正な取引を徹底するための従業員教育

シスメックスでは、汚職を防止し公正な取引を徹底するために、コンプライアンスハンドブックを作成して従業員に配布するとともに教育を実施しています。

中国地域のグループ会社では、2013年度に新入社員、販売・マーケティング部門の従業員、会計部門の従業員、管理職層などに加え、代理店の方々に対しても腐敗防止と独占禁止法に関する研修を実施しました。



グローバルトピックス

# Asia Pacific

AP国際シスメックス学術セミナーを開催し

## 17カ国500名以上が参加

2013年10月8日～9日、マレーシア・クアラルンプールにおいて第4回AP国際シスメックス学術セミナーが開催されました。アジアでのセミナーとして過去最高となる17カ国から500名以上のお客様にご参加いただきました。

今回は、「Adding New Dimensions to Diagnostics(検査診断に新たな展開をもたらす)」をテーマに、7カ国12名の講師の方々から、臨床診断への応用、ケーススタディなど、幅広い有意義な話題が提供されました。



第4回AP国際シスメックス学術セミナー



オープニングの様子

### 人権・労働慣行

#### 従業員の結束力を強化するための活動を実施

2013年度、アジア・パシフィック地域のグループ会社では、従業員の結束力を強化するための活動を実施しました。

ディスカッションやワークショップを開催するとともに、森林トレッキングやスポーツを通じて、リーダーシップやチームワークの醸成に取り組みました。

### 環境

#### 環境保護活動に注力した事業所として インドのバディ工場が表彰

2014年4月、シスメックス・インドのバディ工場が、地元の産業協会から「環境保護活動に注力した小規模産業事業所」として他の8社とともに表彰を受けました。

バディ地域はインドの中でも大規模な産業地域の一つであり、3,000以上の企業が立地しています。

### 消費者課題

#### 新興国の精度管理を支援し、標準化に貢献

シスメックスでは、新興国の検査の標準化に貢献するために、現地の政府・行政や学会とともに外部精度管理※などの支援に取り組んでいます。モンゴルでは、当社の検査機器を基準器とした外部精度管理が実施されています。また、タイ、フィリピンなどでも標準化のための各種支援を実施しています。

※ 外部精度管理：自施設の検査機器の測定データと他施設や基準器(基準となる測定データを出す機器)の測定データを比較することで精度を確認すること。

### コミュニティへの参画・発展

#### 乳がん啓発イベントに協賛

シスメックス・マレーシアは、「Greener Sysmex」と題した、従業員が積極的に推進するCSR活動の一環として2013年10月に拠点近隣で開催されたチャリティランニングイベント「The Pink Charity Run」に協賛しました。このイベントは、地元の病院グループ主催で、乳がんに関する啓発と、患者支援団体などへの寄付を募る目的で開催されています。

We Believe the Possibilities.

**シスメックス株式会社**

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073

Tel 078-265-0500 Fax 078-265-0524

[www.sysmex.co.jp](http://www.sysmex.co.jp)

